

平成23年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月27日

上場会社名 マルサンアイ株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 2551 URL <http://www.marusanai.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)青木春雄  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)伊藤明德 (TEL) (0564)-27-3700  
 四半期報告書提出予定日 平成23年1月31日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第1四半期の連結業績(平成22年9月21日～平成22年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第1四半期	5,389	1.0	248	38.7	213	47.9	65	68.8
22年9月期第1四半期	5,446	1.3	406	11.4	409	202.9	210	265.2

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年9月期第1四半期	5	77		
22年9月期第1四半期	18	43		

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年9月期第1四半期	16,696		2,649		15.8	232	49	
22年9月期	15,536		2,653		17.0	232	96	

(参考) 自己資本 23年9月期第1四半期 2,638百万円 22年9月期 2,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年9月期							6	00
23年9月期								
23年9月期(予想)							6	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年9月21日～平成23年9月20日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	10,493	3.0	378	26.4	364	30.9	139	44.3	12	26
通期	20,889	3.8	697	1.6	667	4.1	285	14.7	25	14

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5 「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年9月期1Q	11,480,880株	22年9月期	11,480,880株
23年9月期1Q	132,210株	22年9月期	132,210株
23年9月期1Q	11,348,670株	22年9月期1Q	11,399,310株

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. その他の情報 .....	5
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間(平成22年9月21日~平成22年12月20日)におけるわが国経済は、新興国を中心とした海外経済の成長や政府による経済対策の効果により一部の業種において回復が見られるものの、円高による輸出競争力の低下や、デフレ基調の持続など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界全般におきましては、少子高齢化や景気の先行き不安による節約志向が続いており、市場環境は厳しい状況にあります。また、各国における気候変動により農産物の需給バランスが崩れ、穀物の国際価格が上昇するなど原料価格が不安定な状態であります。

みそ業界におきましては、昨年の猛暑による販売不振から回復傾向にあるものの、デフレによる低価格志向を背景に販売単価の低水準が続くなど、未だ完全な回復には至っておりません。

豆乳業界におきましては、健康志向の高まりは依然として強いものの、健康飲料の多様化により豆乳市場の伸びは鈍化いたしました。

このような環境の中で、当社は消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めるとともに、事業の効率化やコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高は、53億89百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益は、2億48百万円(前年同期比38.7%減)、経常利益は、2億13百万円(前年同期比47.9%減)、四半期純利益は、65百万円(前年同期比68.8%減)となりました。

## みそ事業

生みそと調理みそが伸び悩んだため、売上高は、17億17百万円(前年同期比4.1%減)となりました。

## a. 生みそ

みそ市場全体が伸び悩む中、低価格志向による販売単価の下落もあり、売上高は、12億35百万円(前年同期比5.3%減)となりました。

## b. 調理みそ

猛暑が秋口まで続いた影響によりストレート鍋スープの出荷が遅れたため、売上高は、3億64百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

## c. 即席みそ

コンビニエンスストアへ新規商品が導入され、売上高は、1億18百万円(前年同期比8.9%増)となりました。

## 豆乳飲料事業

競合他社との販売の激化により販売単価が下落したため、売上高は、32億20百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツ INC.につきましては、持分法による投資損失19百万円を営業外費用に計上しております。

### a. 豆乳

健康飲料の多様化により豆乳市場の伸びは鈍化いたしました。売上高は、23億86百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

### b. 飲料

ミネラルウォーターの出荷が好調だったものの、他社ブランド商品の減少が影響し、売上高は、8億34百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

## その他食品事業

既存のストレート鍋スープの出荷が出遅れたものの、新商品の「塩鍋スープ」の出荷が好調であったため、売上高は、4億51百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### 資産、負債及び純資産の状況

#### a. 資産

流動資産は、87億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億42百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、現金及び預金の増加10億59百万円等によるものであります。

固定資産は、79億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、機械装置及び運搬具の減少93百万円等があったものの、建物及び構築物の増加67百万円、その他の有形固定資産の増加44百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、166億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億59百万円増加いたしました。

#### b. 負債

流動負債は、85億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億56百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、未払金の増加2億24百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加1億73百万円等によるものであります。

固定負債は、55億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億6百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、長期借入金の増加5億57百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、140億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億63百万円増加いたしました。

#### c. 純資産

純資産合計は、26億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、利益剰余金の減少2百万円等によるものであります。

## キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ11億7百万円増加し、23億74百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億87百万円の資金増加(前年同期は38百万円の資金減少)となりました。これは、賞与引当金の減少1億84百万円、売上債権の増加額1億53百万円等の資金減少に対し、未払金の増加額1億85百万円、減価償却費1億73百万円、税金等調整前四半期純利益1億28百万円、仕入債務の増加額1億4百万円等の資金増加によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、85百万円の資金減少(前年同期は1億50百万円の資金減少)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出83百万円等の資金減少によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億10百万円の資金増加(前年同期は6億22百万円の資金増加)となりました。これは、長期借入金の返済による支出7億80百万円等の資金減少に対し、長期借入れによる収入15億11百万円等による資金増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年10月25日に公表いたしました業績予想は、修正しております。

具体的な内容につきましては、本日発表の「特別損失(資産除去債務費用)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 簡便な会計処理

#### a. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を利用して貸倒見積高を算定しております。

#### b. 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### c. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### d. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### 特有の会計処理

#### 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて試算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 会計処理基準に関する事項の変更

#### 資産除去債務に関する会社基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は、それぞれ2,476千円、税金等調整前四半期純利益は、77,885千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は188,138千円であります。

#### 表示方法の変更

#### 四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年12月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,454,251	1,394,606
受取手形及び売掛金	3,530,545	3,376,567
商品及び製品	710,072	641,281
仕掛品	546,265	560,093
原材料及び貯蔵品	530,219	625,689
その他	938,233	969,811
貸倒引当金	5,550	6,736
流動資産合計	8,704,036	7,561,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,864,027	2,796,628
機械装置及び運搬具(純額)	1,663,138	1,756,310
土地	2,642,135	2,642,135
その他(純額)	131,035	86,903
有形固定資産合計	7,300,337	7,281,978
無形固定資産	87,212	60,848
投資その他の資産		
投資有価証券	451,666	474,825
その他	162,791	167,759
貸倒引当金	9,771	9,771
投資その他の資産合計	604,685	632,813
固定資産合計	7,992,235	7,975,640
資産合計	16,696,272	15,536,951
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,504,028	2,399,400
1年内返済予定の長期借入金	2,613,548	2,439,781
未払法人税等	67,985	27,077
賞与引当金	174,243	359,134
未払金	2,597,481	2,372,973
その他	551,173	353,512
流動負債合計	8,508,459	7,951,879
固定負債		
長期借入金	3,598,936	3,041,736
退職給付引当金	1,489,411	1,526,124
役員退職慰労引当金	-	152,770
資産除去債務	188,876	-
その他	261,402	211,285
固定負債合計	5,538,626	4,931,915
負債合計	14,047,086	12,883,795



(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年12月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	657,881	657,881
利益剰余金	1,290,113	1,292,703
自己株式	66,831	66,831
株主資本合計	2,746,607	2,749,197
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,471	28,348
為替換算調整勘定	81,735	77,094
評価・換算差額等合計	108,207	105,443
少数株主持分	10,786	9,402
純資産合計	2,649,185	2,653,156
負債純資産合計	16,696,272	15,536,951

(2) 四半期連結損益計算書  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年9月21日 至平成21年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)
売上高	5,446,241	5,389,407
売上原価	3,763,087	3,802,913
売上総利益	1,683,154	1,586,494
販売費及び一般管理費	1,277,032	1,337,665
営業利益	406,121	248,828
営業外収益		
受取利息	339	261
技術指導料	12,382	11,187
不動産賃貸収入	5,933	5,921
持分法による投資利益	12,756	-
保険解約返戻金	28,689	9,732
その他	5,898	7,271
営業外収益合計	65,999	34,373
営業外費用		
支払利息	19,811	16,678
持分法による投資損失	-	19,243
デリバティブ評価損	14,762	23,420
為替差損	21,401	6,089
その他	6,820	4,567
営業外費用合計	62,795	70,000
経常利益	409,325	213,201
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	1,186
特別利益合計	-	1,186
特別損失		
固定資産除却損	9,075	5,901
資産除去債務基準の適用に伴う影響額	-	75,408
投資有価証券評価損	20,909	4,194
特別損失合計	29,984	85,505
税金等調整前四半期純利益	379,340	128,882
法人税等	168,133	61,996
少数株主損益調整前四半期純利益	-	66,886
少数株主利益	1,124	1,384
四半期純利益	210,081	65,502

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年9月21日 至平成21年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	379,340	128,882
減価償却費	159,649	173,014
貸倒引当金の増減額(は減少)	12,474	1,186
賞与引当金の増減額(は減少)	166,310	184,891
退職給付引当金の増減額(は減少)	12,389	36,712
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	11,638	8,765
受取利息及び受取配当金	1,366	1,396
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	75,408
持分法による投資損益(は益)	12,756	19,243
支払利息	19,811	16,678
為替差損益(は益)	6,621	5,828
投資有価証券評価損益(は益)	20,909	4,194
デリバティブ評価損益(は益)	14,762	1,240
有形固定資産除却損	4,898	5,233
売上債権の増減額(は増加)	251,354	153,977
たな卸資産の増減額(は増加)	358,705	40,506
仕入債務の増減額(は減少)	206,165	104,627
未払金の増減額(は減少)	199,412	185,868
その他	31,344	132,189
小計	264,146	523,517
利息及び配当金の受取額	1,460	1,432
利息の支払額	20,947	19,199
法人税等の支払額	283,495	18,043
法人税等の還付額	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,835	487,706
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	138,625	83,768
投資有価証券の取得による支出	3,061	3,043
その他	8,817	1,690
投資活動によるキャッシュ・フロー	150,504	85,120
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,400,000	1,511,000
長期借入金の返済による支出	756,001	780,033
配当金の支払額	68,395	68,092
その他の収入	96,000	96,000
その他の支出	48,750	48,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	622,853	710,874
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,251	5,816
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	412,261	1,107,645
現金及び現金同等物の期首残高	1,249,109	1,266,606
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,661,371	2,374,251

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成22年9月21日 至 平成22年12月20日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)

	みそ事業 (千円)	豆乳飲料事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,791,008	3,246,777	408,455	5,446,241		5,446,241
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	1,791,008	3,246,777	408,455	5,446,241		5,446,241
営業利益	52,056	310,226	43,838	406,121		406,121

(注) 1 事業区分は、製品の系列を考慮して区分しております。

2 各事業の主な製品

- (1) みそ事業.....みそ、即席みそ、調理みそ
- (2) 豆乳飲料事業.....豆乳、飲料、水
- (3) その他の事業.....その他食品、他社商品

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、主として国内で大豆製品を中心とした食品の開発、製造及び販売をしております。

従って、当社グループは系列を考慮した製品別セグメントから構成されており、「みそ事業」、「豆乳飲料事業」及び「その他食品事業」の3つを報告セグメントとしております。

「みそ事業」は、主に生みそ、調理みそ及び即席みそが対象となります。

「豆乳飲料事業」は、主に豆乳、飲料及び水が対象となります。

「その他食品事業」は、みそ及び豆乳飲料以外の食品が対象となります。

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年9月21日 至 平成22年12月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,717,682	3,220,611	451,113	5,389,407	5,389,407
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	1,717,682	3,220,611	451,113	5,389,407	5,389,407
セグメント利益	225,489	758,622	125,791	1,109,903	1,109,903

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,109,903
全社費用(注)	861,074
四半期連結損益計算書の営業利益	248,828

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。